小児がん診療施設　情報公開

医療機関名	帯広厚生病院
住　　所	北海道帯広市西14条南10丁目1番地
施設ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	https://www.dou-kouseiren.com/byouin/obihiro/index.html

<<患者相談窓口>>

名　　称	帯広厚生病院代表
電　　話	0155-65-0101
Ｆ Ａ Ｘ	0155-65-0105
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	obihiro.kousei.hp@ja-hokkaidoukouseiren.or.jp
対応可能時間	08:30～17:00(土日祝日を除く)

<<医療機関相談窓口>>

名　　称	帯広厚生病院代表
電　　話	0155-65-0101
Ｆ Ａ Ｘ	0155-65-0105
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	obihiro.kousei.hp@ja-hokkaidoukouseiren.or.jp
対応可能時間	08:30～17:00(土日祝日を除く)

施設の特徴(アピール)

当院は、昭和20年に病院開設以来、前病院敷地への移転新築、その後、西棟、南棟、東棟、北棟の新増築を経て、医療の発展とともに規模を拡大し、全国でも数少ない大規模病床(748床)を持つ公的医療機関として、また国から指定を受けた地方・地域センター病院をはじめ救急救命センター、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センターおよび地域支援病院として、十勝圏域の完結型医療を目指し、地域に必要とされる診療機能の充実を図ってまいりました。
　しかしながら、既存施設の老朽化に加えて、度重なる増改築により内部構造が複雑化したことから、一層の地域医療に貢献するために、全面的な施設整備を実施することとし、平成30年11月より診療を開始いたしました。 新病院は、全国一の面積を持つ診療圏において、地域完結型医療と更なる高度専門医療の提供を目指し、「高品質な医療」「医療人の育成」「環境への配慮」を3本の柱に据えて設計・運用されています。

診療受け入れ容量

小児がん病床(対応可能数)	0	
集中治療床(うちPICU、HCU)	HCU	
外来化学療法(◎実績あり、○可能)	◎	
休日・夜間救急対応(◎院外患者対応可能(条件記載)、○院内患者のみ対応可能)	◎	3次救急
フォローアップ外来(◎フォローアップ専門外来、○そのほかの外来)(外来日)		
小児がんセカンドオピニオン対応可能診療科	がん悪性腫瘍に係わる全診療科	

診療実績(初発・再発別) (再発例は再発で紹介された症例のみ)	2023			2022			2021		
	初発	再発	合計	初発	再発	合計	初発	再発	合計
造血器腫瘍	0	0	0	0	0	0	1～3	0	1～3
急性リンパ性白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性骨髄性白血病	0	0	0	0	0	0	1～3	0	1～3
まれな白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MDS/MPDのうちCML	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MDS/MPDのうちCMLを除く	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非ホジキンリンパ腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ホジキンリンパ腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のリンパ増殖性疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0
組織球症(HLH)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
組織球症(LCH)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の組織球症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の造血器腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Down症TAM登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固形腫瘍	0	0	0	1～3	0	1～3	0	0	0
神経芽腫瘍群	0	0	0	0	0	0	0	0	0
網膜芽腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肝腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
軟部腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胚細胞腫瘍(脳・脊髄病変以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳脊髄腫瘍	0	0	0	1～3	0	1～3	0	0	0
その他の固形腫瘍	0	0	0	1～3	0	1～3	0	0	0
その他の固形腫瘍(具体名)	副腎腫瘍								

※再発症例は、対象年において他施設から紹介された再発がんの症例です(自施設での再発症例は含みません)。

診療実績(入院数)	2023	2022	2021	2020	2019	2018
小児がん入院患者延べ数	5	0	5	9	4	2
小児がん入院患者在院延べ日数	79	0	20	204	31	18
全入院患者延べ数(施設全体)	13,209	12,508	12,828	12,847	14,666	14,555
全入院患者入院在院延べ日数(施設全体)	201,088	193,605	185,067	192,511	218,203	221,370

診療実績(造血幹細胞移植)	2023	2022	2021	2020	2019	2018
同種造血細胞移植	0	0	0	0	0	0
同胞間造血細胞移植	0	0	0	0	0	0
家族間ハプロ造血細胞移植※	0	0	0	0	0	0
非血縁造血細胞移植	0	0	0	0	0	0
臍帯血移植	0	0	0	0	0	0
自家造血細胞移植	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

※HLA完全一致または一座不一致の親子間移植も含みます

死亡患者数	2023	2022	2021	2020	2019	2018
血液腫瘍	0	0	0	0	0	0
固形腫瘍	0	0	0	0	0	0
脳・脊髄腫瘍	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

集学的治療実施体制（10例/年以上：◎、可能：○）	化学療法	手術	放射線
固形腫瘍（下記以外）			
脳腫瘍			
眼・眼窩腫瘍			
骨・軟部腫瘍			

療養環境・支援		
面会時間	7:00～20:00	
面会可能者	病院が面会可能と判断した者	
集中治療室面会時間	14:00～15:00,18:00～19:00	
面会可能者	病院が面会可能と判断した者	
付き添い（○不要、◎希望で24時間可能、□24時間必要、△夜間必要、▽その他（具体的に記載））	▽	病院が付き添い者が必要と判断した場合
入院可能年齢	0歳	

相談窓口	○
患者家族宿泊施設（◎敷地内、○近隣）	
代表的施設名	
患者同胞短時間預かり施設（◎院内、○近隣）	
患者家族休憩室（◎予約不要、○予約要）	◎
院内患者家族会（名称、連絡先）	

院内学級（◎：分教室、○：訪問教育）	◎
通院患者の通学（○可能）	○
ベッドサイドでの授業（○可能）	○
高校生への教育支援体制（◎：分教室、○：訪問教育）	
通院患者の通学（○可能）	
ベッドサイドでの授業（○可能）	
就学前児童保育	○

診療機能		
病理組織診断	○	
放射線治療	○	
臓器移植（対象臓器）		
一般社団法人日本造血細胞移植学会非血縁者間造血幹細胞移植を施行する診療科の認定基準（診療科）		
臍帯血移植認定施設		
輸血・細胞療法センター		
集中治療部（◎小児専門もあり、○あり）	○	
長期フォローアップ（院外患者対応可：◎（条件記載）、院内患者のみ：○）		
移行医療（院外患者対応可：◎（条件記載）、院内患者のみ：○）		
緩和ケア（院外患者対応可：◎（条件記載）、院内患者のみ：○）	○	
思春期・青年期がん診療（高校生以上）（◎実績あり、○可能）（対応可能年齢）（特色）		

専門資格保持者　（小児がん診療に実際に携わる人員）			
小児血液・がん専門医		緩和ケア認定看護師	○
小児血液・がん指導医		がん性疼痛看護認定看護師	○
小児がん認定外科医		がん放射線療法看護認定看護師	○
小児外科専門医		摂食・嚥下障害看護認定看護師	○
小児外科指導医		皮膚・排泄ケア認定看護師	○
小児科専門医	○	日本小児がん看護学会　小児がん看護師	
小児神経専門医	○	日本病院薬剤師会　がん薬物療法認定薬剤師	
脳神経外科専門医	○	日本医療薬学会　がん専門薬剤師	
病理専門医	○	日本臨床細胞学会　細胞検査士	○
日本臨床細胞学会　細胞診専門医		日本医学放射線学会　医学物理士	
血液専門医	○	日本放射線治療専門放射線技師認定機構　放射線治療専門放射線技師	○
がん薬物療法専門医		公認心理師	
がん治療認定医機構　がん治療認定医	○	日本臨床心理士資格認定協会　臨床心理士	○
放射線科専門医		日本病態栄養学会/日本栄養士会　がん病態栄養専門管理栄養士	
日本放射線腫瘍学会/日本医学放射線学会　放射線治療専門医		日本人類遺伝学会/日本遺伝カウンセリング学会　認定遺伝カウンセラー	
日本医学放射線学会　放射線診断専門医		日本遺伝性腫瘍学会　家族性腫瘍カウンセラー	
緩和医療専門医		チャイルドライフスペシャリスト	
緩和医療認定医		ホスピタルプレイスペシャリスト	
がん看護専門看護師	○	子ども療養支援士	
小児看護専門看護師	○	保育士	○
地域看護専門看護師		社会福祉士/精神保健福祉士	○
がん薬物療法看護認定看護師	○		

臨床研究　（小児がん診療に関する試験数）	
臨床研究支援センター	
参加臨床試験数（治験を除く）	0
治験実施（有○）	
治験実施内容	

←別表にご入力ください